

YFH V 104-M000 取扱説明書

注：2 ステーションモニター（YFH V 104-M000）

を使用するためには親機を 2 ステーション仕様に改造する必要があります。

2 ステーション仕様の改造については弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。

1. 安全上のご注意

危険



- カバーは絶対にはずさない。
感電の原因になります。
修理は、お買い上げ先または弊社お客様相談窓口へ連絡してください。

警告



- 簡易的な取付はしない。
ケガなどの事故の原因となります。



- 操船中に操作をしない。
海難事故の原因となります。
※操作をする場合は、周囲の安全を充分確認した上で行ってください。



- 本体及びコード類の分解、改造は絶対にしない。
火災や感電、ケガの原因となります。



- 故障や発煙、発火のときは電源ケーブルをはずす。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
必ず、お買上先または弊社お客様相談窓口へ連絡してください。



- コード類は、操船の妨げにならないように配線する。
足や操船装置にからむと、事故の原因となります。
※コード類の上に重いものをのせたり、無理に曲げたりしないでください。



- 痛んだコード類は使用しない。
火災や感電の原因となります

注意



- 雨や水しぶきが直接かかる場所へ設置しない。
火災・感電の原因となります。



- 高温になる場所へ設置しない。
内部温度上昇による発火やケガ、感電の原因になります

T F T 液晶パネルについて

- T F T 液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上が有効画素ですが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素が存在します。
これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

2. 構成部品

品名	数量	備考
10.4 型 2 ステーションモニター	1	架台×1、ノブボルト×2、架台用防振ゴム×2 架台用ワッシャー×2 付属
円形銘板	2	使用しないノブボルトの穴に貼付
アナログRGBケーブル (10m)	1	D-SUB 5 pin オス - D-SUB 5 pin オス
モニター電源ケーブル (10m)	1	5P - 5P
トラスタッピング (5×20 SUS)	4	本体 架台取付用ネジ
インダッシュ用ナベタッピングネジ	4	インダッシュ取付用ネジ
取扱説明書 (本書)	1	
インダッシュ取付加工図	1	

3. 本体の取付方法

・YFHV104 シリーズ 取扱説明書 本体の取付け方法の項目を参照し、取り付けを行ってください。

※親機と同じ向きで取付を行ってください。

(親機を縦画面で取付けた場合には2 ステーションモニターも縦画面、
親機を横画面で取付けた場合には2 ステーションモニターも横画面で取付けてください。)

4. 親機との接続方法

1. モニター電源ケーブル (10m) にて親機と2 ステーションモニターを接続します。
2. アナログRGBケーブル (10m) にて親機と2 ステーションモニターを接続します。

5. ビデオ入力画面の表示

この機能を使用する場合は、本体背面のビデオ入力端子にビデオ信号を入力してください。

ビデオ信号が入力されると、強制的にビデオ画面が表示されます。

通常画面に戻すには、入力したビデオ信号を切って下さい。

(注意) ビデオ入力画面は横画面で表示されます。

ビデオ入力画面を表示させるには表示方向を横画面に設定してください。

6. その他注意点

1. 2 ステーションモニターの操作キーにて親機の操作を行うことができます。
2. 親機の電源が入っていないときには2 ステーションモニターの電源は入りません。
(親機の電源を切ると2 ステーションモニターの電源も切れます。)
3. 2 ステーションモニターの電源を切っても親機の電源は切れません。

7. 仕様

表示機	10.4 型 TFT カラー液晶
表示方向	縦横表示兼用 (ただし親機と同じ向きで使用する。)
表示ドット	640×480
本体寸法	縦型取付時：268(H)×239.5(W)×120(D) 横型取付時：239.2(H)×268(W)×120(D)
本体重量	2.0kg
消費電力	12W

8. オプション部品

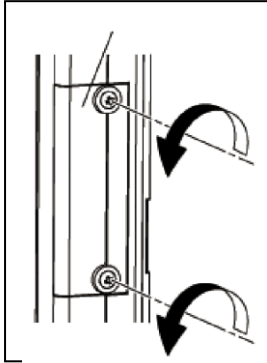
リモコン (CR04)	CR04 のケーブルをはずし、赤外線リモコンとして使用します。 2 ステーションモニターでは有線リモコンは使用できません。 (親機は有線リモコン使用可)
-------------	--

画面調整（OSD 機能）

本機には OSD(On Screen Display)機能が付いています。OSD 画面を操作することにより、画面の調整ができます。初期状態で基準機との調整を行っていますが、接続する親機との調整が再度必要となる場合があります。その場合は、下記の方法で調節してください。

OSD 画面の操作

- ① 本体横の上段のカバーをはずします。



- ② 内部のスイッチを操作して、OSD 画面を操作してください。

OSD 画面表示後、スイッチのいずれも押さず OSD オートオフで設定された時間が経過すると OSD 画面は自動的に消えます。約 30 秒

ADJUST

+スイッチ：

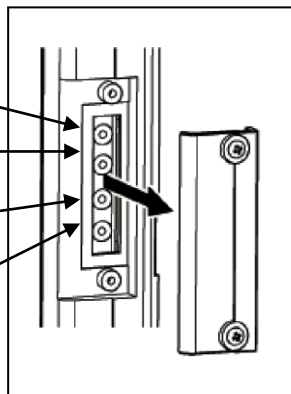
ADJUST

-スイッチ：

MENU/ENTER

スイッチ：

このスイッチは機能しません



1. MENU/ENTER：通常画面表示中にこのスイッチを押すと、OSD メニュー画面が表示されます。もう一度押すと選択項目が下に移動します。項目が一番下の状態で、もう一度押すとメニュー画面が終了します。
2. ADJUST +：選択項目の設定値が増加します。
3. ADJUST -：選択項目の設定値が減少します。

- ③ 調整後、カバーを本体に取り付けてください。

HPHASE： 画面の位相を調整します。画面に横方向のノイズが表示されたり、文字がにじんだり、輪郭がはっきりしない時に調整してください。

H-POSITION： 画面の横位置を調整します。

V-POSITION： 画面の縦位置を調整します。

R LEVEL： 赤レベルの調整を行います。

G LEVEL： 緑レベルの調整を行います。

B LEVEL： 青レベルの調整を行います。